

青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター (アピオあおもり) の管理運営状況

(令和3年度～令和7年度指定期間評価)

県所管課	こども家庭部県民活躍推進課 こども家庭部こどもみらい課
指定管理者	未来へつなぐネットあおもりグループ (代表者である構成員) 青森県青森市新町二丁目5番1号 株式会社角弘 代表取締役 船越 秀彦
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
総合相談事業	県民の様々な悩みや問題に対し、電話及び面接相談により、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環としてDV相談・支援者向け講座等を実施した。
学習・人材育成事業	ウィメンズアカデミーを、地域女性リーダーコース (R3:南部町、R4:五戸町、R5:むつ市、R6:つがる市、R7:七戸町) 及び働く女性リーダーコースの2コース開催した。
普及啓発事業	男女共同参画フェスティバル (アピオあおもり秋まつり) を開催した。
活動支援事業	県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織において、地域の特色を活かした男女共同参画の学習会等の開催の支援等を行った。
調査研究事業	地域で活動する男女共同参画に関する団体について、情報を集約し、リスト作成を行った。また、年度ごとに課題テーマを設定し、研究及び調査を行った。 (R3:市町村職員意識調査、R4:女性の県外流出に関する調査、R5:R6 調査の準備、R6:女性の政治参画に関する調査、R7:高校生の固定的性別役割分担意識に関する調査)
情報提供事業	男女共同参画を推進するための情報を収集、蓄積、提供する情報ライブラリーについて、購入図書を選定やテーマ展示、出前貸出等の工夫を行った。 男女共同参画の視点に立った情報誌を年2回発行した。
防災対策事業	地域における男女共同参画の視点を取り入れた防災体制づくりに向け、市町村、自治会等の研修会等へ講師を派遣した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、こどもと家庭に関する情報提供を行った。また、子育て支援に関する情報啓発情報誌を発行したほか、あおもり子育て応援わくわく店の登録やリーフレット等の発行、子育て応援パスポートの発行及び周知、SNSを活用した情報発信等事務を行った。
活動支援事業	県内の地域子育て支援拠点関係者や市町村職員等を対象に、子育て支援の連携強化を目的とした研修や実技向上のための講習会を開催した。
総合相談事業	結婚、妊娠、出産、子育ての悩みやこどもの問題など、こどもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、支援を行った。
学習体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やDVD等の貸出を行った。また、親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、児童福祉週間にはこどもと子育てに関する複合的なイベントを開催した。

業務区分	概要
普及・啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、講演会やワークショップ等を実施した。
調査・研究事業	子育てサークル等活動調査、次世代育成支援行動計画推進に資する調査等を隔年で実施し、HPに掲載した（※「子どもの一時預かり」に関する調査（R2）、「あおり子育て応援パスポート事業」に関する調査（R4、R6（R6は認知度や利用状況の変化に関する調査））。また、業務ニーズ調査を実施し、今後の子育て支援施策の参考とするため報告書を作成し、公開した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数	R 7	85,000人	59,409人	69.9%	143.4%
	R 6	56,000人	41,440人	74.0%	84.9%
	R 5	85,000人	48,790人	57.4%	181.1%
	R 4	85,000人	26,944人	31.7%	92.6%
	R 3	85,000人	29,107人	34.2%	97.1%
	平均	79,200人	41,138人	51.9%	
施設使用件数	R 7	3,000件	2,764件	92.1%	134.8%
	R 6	2,000件	2,051件	102.6%	91.9%
	R 5	3,000件	2,233件	74.4%	158.7%
	R 4	3,000件	1,407件	46.9%	77.4%
	R 3	3,000件	1,818件	60.6%	98.6%
	平均	2,800件	2,054.6件	73.4%	
施設利用の満足度	R 7	98.0%	98.9%	100.9%	114.5%
	R 6	98.0%	86.4%	88.2%	95.9%
	R 5	98.0%	90.1%	91.9%	102.4%
	R 4	98.0%	88.0%	89.8%	89.3%
	R 3	98.0%	98.5%	100.5%	100.0%
	平均	98.0%	92.4%	94.3%	

※「施設利用の満足度」の実績は、「良い」「とても良い」を合計した割合。

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
あおりウィメンズアカデミー受講生数	R 7	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	6人	60.0%	50.0%
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	36人	72.0%	85.7%
	R 6	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	12人	120.0%	120.0%
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	42人	84.0%	140.0%

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
あおりウイメンズアカデミー 受講生数	R 5	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	9人	90.0%	69.2%
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	30人	60.0%	49.2%
	R 4	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	13人	130.0%	185.7%
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	61人	122.0%	100.0%
	R 3	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	7人	70.0%	—
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	61人	122.0%	84.7%
	平均	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	9.4人	94.0%	/
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	46人	92.0%	
地域ネットワーク活動支援事業 企画運営	R 7	県内6箇所で開催	県内3箇所で開催	50.0%	60.0%
	R 6	県内6箇所で開催	県内5箇所で開催	83.3%	100.0%
	R 5	県内6箇所で開催	県内5箇所で開催	83.3%	124.9%
	R 4	県内6箇所で開催	県内4箇所で開催	66.7%	133.3%
	R 3	県内6箇所で開催	県内3箇所で開催	50.0%	100.0%
	平均	県内6箇所で開催	県内4箇所で開催	66.7%	/
情報ライブラリー貸出件数	R 7	11,000件	11,484件	104.4%	110.0%
	R 6	11,000件	10,442件	94.9%	93.1%
	R 5	11,000件	11,220件	102.0%	121.7%
	R 4	11,000件	9,221件	83.8%	95.0%
	R 3	11,000件	9,710件	88.3%	90.5%
	平均	11,000件	10,415件	94.7%	/
情報誌読者アンケート満足度	R 7	5段階評価の4.1	4.5	109.8%	101.1%
	R 6	5段階評価の4.1	4.45	108.5%	101.1%
	R 5	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	100.0%
	R 4	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	102.3%
	R 3	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	104.9%
	平均	5段階評価の4.1	4.41	107.3%	/

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報誌読者モニターアンケート満足度	R 7	5段階評価の4.1	4.6	112.2%	104.5%
	R 6	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	100.0%
	R 5	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	100.0%
	R 4	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	95.6%
	R 3	5段階評価の4.1	4.6	112.2%	104.5%
	平均	5段階評価の4.1	4.48	109.3%	
手作りおもちゃ講師育成事業参加者数	R 7	120人	109人	90.8%	117.2%
	R 6	150人	93人	62.0%	76.2%
	R 5	120人	122人	101.7%	145.2%
	R 4	120人	84人	70.0%	161.7%
	R 3	60人	52人	86.7%	82.5%
	平均	114人	92人	80.7%	
親子・次世代育成すくすくスキップ事業参加者数	R 7	親子向け 募集定員の100% (70人) 指導者向け 募集定員の100% (40人)	親子向け 69人 指導者向け 37人	親子向け 98.6% 指導者向け 92.5%	親子向け 68.3% 指導者向け 62.7%
	R 6	親子向け 募集定員の100% (100人) 指導者向け 募集定員の100% (100人)	親子向け 101人 指導者向け 59人	親子向け 101.0% 指導者向け 59.0%	親子向け 95.3% 指導者向け 59.6%
	R 5	親子向け 募集定員の100% (100人) 指導者向け 募集定員の100% (100人)	親子向け 106人 指導者向け 99人	親子向け 106.0% 指導者向け 99.0%	親子向け 163.1% 指導者向け 309.4%
	R 4	親子向け 募集定員の100% (60人) 指導者向け 募集定員の100% (40人)	親子向け 65人 指導者向け 32人	親子向け 108.3% 指導者向け 80.0%	親子向け 216.6% 指導者向け 35.9%
	R 3	親子向け 募集定員の100% (40人) 指導者向け 募集定員の100% (100人)	親子向け 30人 指導者向け 89人	親子向け 75.0% 指導者向け 89.0%	親子向け 65.2% 指導者向け 556.3%
	平均	親子向け 募集定員の100% (74人) 指導者向け 募集定員の100% (76人)	親子向け 74.2人 指導者向け 63.2人	親子向け 100.3% 指導者向け 83.2%	

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
子育て広場参加者数	R 7	募集定員の 100% (300 人)	256 人	85.3%	98.5%
	R 6	募集定員の 100% (250 人)	260 人	104.0%	243.0%
	R 5	募集定員の 100% (100 人)	107 人	107.0%	81.1%
	R 4	募集定員の 100% (120 人)	132 人	110.0%	209.5%
	R 3	募集定員の 100% (60 人)	63 人	105.0%	53.4%
	平均	募集定員の 100% (166 人)	163.6 人	98.6%	

【増減理由】

・貸館利用者数、施設利用件数、施設利用満足度について

感染拡大防止のための休館措置や大規模改修に伴う貸館休止措置等の影響により、令和6年度の施設使用件数以外は目標値に達しなかったが、指定管理者の責めに帰することができない事由によるものであり、感染拡大防止対策や休館・貸館休止期間の周知や改修工事実施中の利用者の安全確保に努め、適切に施設運営を行っていた。施設利用満足度もおおむね高水準を維持している。

・あおもりウィメンズアカデミー受講生数

オンライン講座やオンデマンド配信を実施するなどして、受講者の確保に努めた。目標値に達しない年度もあったが、受講者の満足度は毎年度高評価を得ている。今後も充実した講座内容により、女性の人材育成とネットワークづくりを進めていく。

・地域ネットワーク活動支援事業、情報誌読者アンケート満足度について

県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、地域の男女共同参画の学習会等の開催を支援したが、地域毎の取組状況に差があり、コロナ禍以降も6地域全てで学習会を開催するに至っていない。情報誌読者アンケートについては、毎年度高評価を得ている。

・手作りおもちゃ講師育成事業参加者数

おもちゃコンサルタントの資格を有した職員が講師となり、おもちゃの作り方の実技を基礎とし、手作りおもちゃ講師の育成を図った。講習では、事前に撮影した作り方の動画を用いて分かりやすい説明に努めるなどの工夫を行った。開催圏域毎の参加者数にばらつきがあり、参加者数が減少する年度もあったが、参加者の満足度が高い講習会であるため、今後は周知方法を工夫し、参加者の増加につなげる必要がある。

・親子・次世代育成すくすくスキンシップ事業参加者数

親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、子育て支援関係者の資質向上を図る研修として内容充実を図った。また、次世代育成として学生にもボランティア協力をしてもらい、子育て支援等について学ぶ機会を提供した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者の人数制限を設けたこともあり、親子・子育て支援者の参加者両方が目標値を達成できなかった年度があった。今後は更に内容の充実と効果的な周知に努め、特に子育て支援関係者の参加者の増加につなげる必要がある。

・子育て広場参加者数

男性も参加しやすい内容・形式を取り入れ、広報活動も積極的に行う等の取組を行った。また、子供向けのワークショップを開催するなど実施の形態を工夫したことにより、募集定員よりも多くの参加者の増加につながった。令和7年度の参加者数は、前年度よりも若干減少したため、引き続き内容の充実を図りながら周知方法を工夫し、参加者の増加につなげる必要がある。

3 評価結果（令和3年度～令和7年度の評価）

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われているか。	3	3	全職員をローテーション勤務とし、業務水準書等に掲げる業務を適正に実施している職員マナーについては日常の注意喚起のほか、利用者の意見・苦情把握に努め、サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われている。
②利用促進に向けた取組が適切に行われているか。	3	3	館内における催事案内表示や、ホームページにおいて施設の予約状況を情報提供しているほかSNSの更新により、利用情報提供の利便性向上に向けて取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	建物、設備の維持管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとり利用者の利便性と安全性が確保されている。また、備品管理については日常点検・確認を実施している。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	基本協定書の規定を遵守すべく、随時職員の教育の徹底を行っている。また、防災マニュアルを改訂し、職員に対して緊急連絡系統図の周知徹底を図っている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	両センターの事業は事業計画に基づき実施されているほか、管理標準を定め、光熱水費等の無駄の削減、経費節減に努めており、必要な修繕の早期対応に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	一部達成できなかった指標項目があるものの、指定管理者の責めに帰することができない事由によるものであり、成果目標達成のための努力が行われている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	労働法令を遵守している。また、個人情報保護の重要性を踏まえ、職員への周知を徹底しており、苦情等の問題が発生していない。
総合評価	3	3	おおむね業務水準書等の内容が満たされている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている。
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。